

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	放射線治療精度に影響を与える因子に関する基礎研究 (令和2年度版)
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
平成20年～令和1年に新潟大学医歯学総合病院放射線治療科で胸部の放射線治療を受けた食道癌と肺癌の患者さんが対象になります。	
③概要	
放射線治療を高精度に行うためには病巣や正常組織に吸収される放射線の量を正確に計算することが必要であるため、コンピューター断層撮影(CT)の画像データをもとにした精密な計算が行われます。また近年、呼吸時相(息を吸った時、吐いた時)ごとのCT画像の取得が可能となり、放射線治療計画にも応用できるようになりました。今回の研究では、以下の4つの検討を行います。 ①胸部の放射線治療で呼吸が計算結果に及ぼす影響、②胸部の放射線治療で呼吸に関連したどのような画像が治療計画に適しているか、③胸部の放射線治療で癌以外の肺の状態が計算結果に及ぼす影響、④種々の計算条件において照射位置の誤差が計算結果に及ぼす影響。	
④申請番号	2020-0168
⑤研究の目的・意義	本研究の目的は、放射線療法において様々な条件の違いが計算結果に及ぼす影響を明らかにすることです。放射線治療の計算結果に及ぼす影響を明らかにすることは、正確な治療を行うために大変有用な情報であると考えられます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2024年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	放射線治療計画のために取得したCT画像データを使用します。また、電子カルテや放射線治療計画装置に保存されている患者様基本データ、疾患情報を使用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。なお、他の施設へ情報が提供されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	放射線治療計画用のCT画像データ、患者様基本データ(年齢、性別等)、疾患情報(病名、併存疾患、治療内容等)。
⑨利用する者の範囲	新潟大学医学部保健学科、新潟大学大学院保健学研究科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学大学院保健学研究科 教授 笹本龍太
⑪お問い合わせ先	所属：新潟大学大学院保健学研究科 氏名：笹本龍太

電話：025-227-0521

Eメール：rsasa@dlg.niigata-u.ac.jp